

令和3年度 研究概要

研究推進担当者会議

<p>所属名</p> <p>カリキュラムセンター</p>	<p>研究会議名</p> <p>図画工作・美術科 研究会議</p>
<p>研究主題</p>	<p>生活や社会の中の美と豊かに関り、自分を高める図画工作・美術科の授業づくり ～造形的な見方・考え方が働くようにするための手立てを通して～</p>
<p>資質・能力 育成を目指す</p>	<p>生活や社会の中の美と豊かに関わり、自分を高めていく資質・能力</p>
<p>研究内容</p>	<p>本研究では、児童生徒の「造形的な見方・考え方」が自然と働くようにしていくための手立てを講じて、生活や社会の中の美と豊かに関り、自分を高めていけるような図画工作・美術の授業づくりについて研究する。たたたたた</p> <p>図画工作・美術科では、同じ題材で学習をしても、教師の投げかける言葉がわずかに違うだけで、児童生徒が表現する内容が左右される実態がある。そこで、造形的な見方・考え方が自然と働くような具体的な手立てとして、「問いの設定」について研究を深めることとする。</p> <p>狭い発想や鑑賞で終始するのではなく、児童生徒が自ら思いを多様に広げられることのできる「問い」について研究することで、その後の児童生徒の姿がどのように変化し、題材を通して身に付けた資質・能力を生活や社会の中の美と関連づけたり、次の題材以降で生かしたりしているのか検証したい。</p> <p>よりよい造形的な見方・考え方が働くようにするための手立てとして、「問いの設定」についての研究を通して、生活や社会の中の美と豊かに関り、自分を高める資質・能力の育成の育成を図ることとする。</p>